

《過労運転の防止》

健康も 無事故も続けて 皆笑顔

《交差点事故をなくしましょう》

黄色信号で交差点進入は、命取りになります 黄色信号は「止まれ」

《構内事故・バック事故をなくしましょう》

出発時 ぐるりとトラック ひと回り

《追突事故を防止しましょう》

前方の 異変に気づける 車間距離

漫然運転、居眠りに注意しましょう **2時間走行15分休憩！**

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

午後11時 標津町 国道272号

ライトバンが道路脇の防雪柵に突っ込む

ライトバン運転の男性

頭がい骨骨折、意識不明の重体

◇目がかゆいは、眠気のサイン 運転時の休憩は、2時間ごとに◇

◇2時間走行、15分休憩 守ろう！ 自分の命、他人の命◇

2025/7/25(金)

24日午後11時すぎ、標津町の国道272号線を北東方向に走っていたライトバンが、道路わきの防雪柵に突っ込み、車の前方部分が大破しました。この事故で、ライトバンを運転していた男性（23）が、頭を打って、頭蓋骨を骨折し意識不明の重体です。現場は片側一車線の国道で、事故処理のため、一時片側通行になりました。

旭川 乗用車と自転車衝突

自転車の79歳女性重傷

現場は信号機や横断歩道のない片側2車線の道路

◇わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう◇

◇「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇

◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2025/7/25(金)

24日正午ごろ、旭川市の信号機や横断歩道のない片側2車線の道路で、走行中の乗用車が右から来た自転車が衝突し、自転車に乗っていた女性（79）が重傷です。乗用車を運転していた男性（60）にけがはありません。警察によりますと、男性が乗っていたのはレンタカーで、乗用車の前方部分と自転車の後方部分が衝突したということです。乗用車は中央線に近い車線を走行していました。

走行中の車のタイヤが外れ

店の列に突っ込む

4歳と6歳の男児ら4人けが

自動車販売会社の整備士2人を書類送検

◇運行前点検…タイヤ、ホイール、ナット…そして、『スペアタイヤ』の点検◇

◇タイヤ交換後の増し締めの実施を！◇

◇『水』と『オイル』の点検も忘れずに…◇

2025/7/25(金)

2025年4月、長野県で走行中の車のタイヤが外れ、4人が軽いけがをした事故で、警察は、車の整備士2人を業務上過失傷害と過失運転致傷の疑いで書類送検しました。この事故は、4月、長野県の県道で走行中の車の後輪タイヤ2本が外れ、そのうち1本が近くの店の列に突っ込み、4歳と6歳の男の子と15歳の女子高校生、49歳の女性の4人が軽いけがをしたものです。警察は、車の検査の際に、ブレーキドラムと車軸を結ぶ「ハブロックナット」と「ハブキャップ」の装着を忘れ、さらに、検査した車を運転中に異常な振動を感じながら運転を止めなかったとして市内の自動車販売会社の整備士の男性（31）を過失運転致傷の疑いで書類送検しました。また、一緒に検査を担当した別の整備士の男性（22）を業務上過失傷害の疑いで書類送検しました。